

さいたま市民医療センターにてご加療中の方へ

当院回復期リハ病棟入院患者の平均年齢は 78.2 歳であり、難聴によりコミュニケーションに難渋することがあります。一般的に難聴有病率は 65 歳以上で急増し、70 歳代後半では約 7 割に難聴がみられると報告されています。

そこで、回復期リハ病棟入院患者に聴覚スクリーニングを実施し実態を調査するとともに、その後の経過を評価し、今後の難聴治療に繋がりたいと考えます。これらのデータを分析することは、リハビリテーションの遂行を円滑にし、地域社会復帰における生活の再構築や QOL の維持向上に繋がると考えます。

【研究課題】 回復期リハ病棟における難聴の実態調査と経過検討

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 **さいたま市民医療センター 診療科 耳鼻咽喉科**

研究責任者 **診療科 耳鼻咽喉科 科長 江洲 欣彦**

担当業務 **データ収集・匿名化・データ解析**

【研究期間】

倫理委員会の許可後～ 2026 年 12 月まで

【対象となる方】

倫理委員会の許可後～ 2026 年 12 月 31 日の間に当院の回復期リハ病棟入院された 65 歳以上の患者

【研究の意義】

回復期リハ病棟入院中に聴覚スクリーニングを実施することは、聴こえの改善のみならず、リハビリテーションの遂行を円滑にし、地域社会復帰における生活の再構築や社会参加、QOL の維持向上に繋がると考えています。

【研究の目的】

回復期リハ病棟には、脳血管疾患、整形疾患、心疾患、内部障害による廃用症候群など様々な疾患を有した患者が入院している。簡易聴力検査を実施し、各疾患における難聴の実態調査を行う。また、その後の難聴に対する治療経過を収集することで、補聴の可能性と効果を明らかにすることを目的とする。

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センターの倫理委員会の承認を受け実施するものです。通常の診療の範囲内で、聴こえの改善を評価します。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

得られたデータは個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、パスワードのかかる記録媒体に保存します。また、記録媒体は鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。得られたデータは希望に応じて、対象となった方に供覧することも可能です。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先まで **2026年12月31日まで**にご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、**個人が特定出来ない形式で学会等で発表**されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後**5年間**保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または下記の問い合わせ先へお尋ねください。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。
尚、あなたへの謝金はございません。

2025年1月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 耳鼻咽喉科

住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1

電話：048-626-0011